

資料の刊行

(1991年4月～6月)

<資料題名(発行年月日)>

<担当者>

○人口問題研究所年報 平成2年度(1991年4月)

○日本の将来推計人口——平成3年6月暫定推計——(1991. 6. 6).....

阿 藤 誠
金 子 一
石 川 隆
三 田 房
美

○人口問題研究所案内(1991年6月)

日本人口学会第43回大会

日本人口学会(岡崎陽一会長)の第43回大会は、1991年5月31日(金)と6月1日(土)の両日にわたり、島根医科大学(多田學大会準備委員長)主催のもとに島根大学において開催された。

なお、大会の前日には出雲市厚生年金会館において記念講演会が開催された。岩国哲人出雲市長と平川顯名出雲医科大学学長の挨拶の後、安川正彬慶応大学名誉教授および能勢隆之鳥取大学教授より、老人と性を中心とした講演が行われた。

学会における会長講演、シンポジウム、共通論題および自由報告の報告題名と報告者は、次の通りである。

第1日(5月31日)

○会長講演:日本の人口政策

岡崎 陽一(日本大学)

○シンポジウム「長寿社会と生活の質」

<組織者> 多田 學(島根医科大学)

<座長> 多田 學(島根医科大学)
能勢 隆之(鳥取大学)

<報告>

1. 質を考慮した健康指標とその活用.....郡司 篤晃(東京大学)
2. 高齢者の生活行動と生活の質.....嵯峨座晴夫(早稲田大学)
3. 高齢化社会と生活の質について.....保母 武彦(島根大学)

<討論者> 江見 康一(帝京大学)
重松 峻夫(福岡大学)

第2日(6月1日)

○共通論題報告A「過疎社会における人口変動と地域特性」

<組織者> 濱 英彦(成城大学)

<座長> 皆川 勇一(千葉大学)

<報告>

1. 山陰地域における人口変動と過疎化・高齢化.....藤岡 光夫(島根大学)
2. 家族構造から見た出雲と石見の地域特性.....清水 浩昭(人口問題研究所)
3. 小地域社会における人口動態と世帯構成の変化

——石見町、五箇荘町、真室川町の村落事例の比較研究——.....松下敬一郎(龍谷大学)

<討論者> 河邊 宏(日本大学)
高橋 眞一(神戸大学)

○共通論題報告B「青年の人口学——出生率低下の背景を探る——」

<組織者> 阿藤 誠(人口問題研究所)

<座長> 坪内 良博(京都大学)

<報告>

1. 若年の勤労観と就業行動.....古郡 鞆子(明海大学)

2. 青年の性行動……………林 謙治 (国立公衆衛生院)
3. 青年の居住行動……………伊藤 達也 (人口問題研究所)
- 〈討論者〉 兼清 弘之 (明治大学)
- 津谷 典子 (日本大学)

○自由論題報告

第1日 (5月31日)

〈座長〉 吉田 忠雄 (明治大学)

1. J. P. Süßmilch (1707-67) と T. R. Malthus (1766-1834)
との学問的つながりについての比較的研究 (その3) ……飯淵 康雄 (琉球大学)
2. 宗教教徒別乳児死亡率の比較
—丸山博著作集第1巻を基調として— ……内海 健寿 (会津短期大学)
3. 人口統計における mesh (メッシュ) をめぐって ……丸山 博 (元大阪大学)
4. 向精神薬服用中の女性の出産について……………土井 清 (鳥取大学)
- 能勢 隆之 (鳥取大学)
- 大城 等 (鳥取大学)
- 黒沢 洋一 (鳥取大学)
- 岩井 伸夫 (鳥取大学)

〈座長〉 小笠原節夫 (愛知教育大学)

5. 出生児数の減少にともなう長男長女比率の変化について……………原 俊彦 (北海道東海大学)
6. ロジャーズモデルによる山陰二県の人口解析……………重松 峻夫 (福岡大学)
- 南條 善治 (東北学院大学)
- 吉永 一彦 (福岡大学)

〈座長〉 山本 文夫 (中村学園大学)

7. 韓国の労働力変動と経済成長……………李 相蓮 (中央大学大学院)
8. 韓国の人口転換について……………石 南國 (城西大学)
9. 社会変動と家族関係の変化の日韓比較……………津谷 典子 (日本大学)

〈座長〉 石 南國 (城西大学)

10. 新中国40年の出生力動向……………尹 豪 (中央大学)
11. 中国の1980年代の出生力の変動と要因……………佐藤龍三郎 (国立公衆衛生院)
12. 出生力転換について……………河野 稠果 (人口問題研究所)

〈座長〉 兼清 弘之 (明治大学)

13. 先史人口集団の拡散過程のマイクロシミュレーション……………大場 保 (人口問題研究所)
- 正木 基文 (昭和大学)
14. 近世日本農村におけるミクロ・デモグラフィー:
〈人口転換〉前西欧パターンとの比較……………友部 謙一 (徳山大学)
15. センサス年齢別人口の補正について……………浜野 潔 (慶応義塾女子高校)

〈座長〉 大友 篤 (日本女子大学)

16. 江戸時代における農民の死亡構造 —宗門改帳の分析を通して— ……木下 太志 (江南女子短期大学)
17. 日本前工業化期における農業労働力……………石原 正令 (関東学園大学)
18. 人口移動の文明史的視点 —世界の新秩序と“国境なき世界”— ……黒田 俊夫 (日本大学)

第2日 (6月1日)

〈座長〉 宮川 實 (東京女子大学)

19. わが国初婚行動の人口学的分析……………金子 隆一 (人口問題研究所)
20. 都道府県別未婚率およびSMAMの推移……………渡邊 吉利 (人口問題研究所)
21. 家族構造が結婚年齢に及ぼす影響……………坂井 博通 (人口問題研究所)

22. 結婚と世代間関係に関する規範意識の構造……………鈴木 透 (人口問題研究所)
 <座長> 山口 喜一 (東京家政学院大学)
23. 個人差・地域差にみる多世代家族……………黒須 里美 (国際日本文化研究センター)
24. 老親扶養の規範と老後保障の期待に関する時系列的分析……………小川 直宏 (日本大学)
 <座長> 小林 昭二 (厚生統計協会)
25. 出生数と生残率の変動が平均年齢に与える影響について……………大谷 憲司 (関西大学)
26. 合計死別率などの合計動態率について……………廣嶋 清志 (人口問題研究所)
27. 生命表によるライフ・サイクル指標……………府川 哲夫 (国立公衆衛生院)
 <座長> 工藤 弘安 (成城大学)
28. 世代マップ——人口動態統計の情報表現——……………池田 一夫 (東京都立衛生研究所)
 倉科 周介 (東京都立衛生研究所)
 大橋 誠 (東京都立衛生研究所)
29. 小地域人口推計方法の改良
 ——コーホート変化率法の都市内部地域への適用に関して——……………大江 守之 (清水建設)
30. 人口の東京一極集中と地域移動の動向——昭和50年以降の動向——……………藤田 峯三 (総務庁統計センター)
 <座長> 仮谷 太一 (川崎医療福祉大学)
31. 新生児が生存可能な出生時体重の閾値……………花田 恭 (国際協力事業団)
32. 小地域別にみた出生数の変化に関する考察……………梅崎 昌裕 (東京大学)
 大塚柳太郎 (東京大学)
 鈴木 継美 (東京大学)
 <座長> 篠崎 吉郎 (帝塚山大学)
33. 明治・大正期における乳児死亡率の上昇について……………高瀬 真人 (前国立公衆衛生院)
34. わが国の死亡率低下についての一解釈……………西田 茂樹 (国立公衆衛生院)
35. 死因別死亡率のパラメタライズドモデル(2)……………南條 善治 (東北学院大学)
 重松 峻夫 (福岡大学)
 吉永 一彦 (福岡大学)
 <座長> 岡田 實 (中央大学)
36. 稲作農家の性別年齢別就業動向……………唯是 康彦 (千葉大学)
 三浦 洋子 (千葉経済大学)
37. 死亡変動と人口高齢化……………高橋 重郷 (人口問題研究所)
38. 人口高齢化の経済的効果……………大淵 寛 (中央大学)
39. 需給バランスの変化と労働市場の不均衡……………水野 朝夫 (中央大学)
 <座長> 小野 俊夫 (早稲田大学)
40. インドネシアの移住政策と人口移動……………渡辺真知子 (嘉悦女子短期大学)
41. Brazil 日系人調査について……………水野 坦

日本人口学会関東部会 (第7回研究報告会)

平成3年6月29日(土)午後, 日本人口学会関東部会の第7回研究報告会(公開講座)が以下の通り駒沢大学において開催された。

- 座長 阿藤 誠 (厚生省人口問題研究所)
- 第1報告 「戦後の人口問題と優生保護法」……………岡崎 陽一 (日本大学)
- 第2報告 「ヤング・アダルトの日米比較」……………津谷 典子 (日本大学)